

爆ネット通信

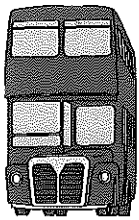
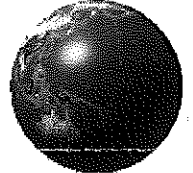
第 13 号
H23.3.1

熊本県爆発物原料取扱業者等ネットワーク事務局
熊本県警察本部外事課
096-381-0110(内線 5719)

国際テロ情勢

ホームグロウンテロリストの脅威について

皆さん、「ホームグロウンテロリスト」という言葉を聞いたことがありますか。「ホームグロウンテロリスト」とは、新世代のテロリストとも呼ばれ、一般的には外国から移住した移民の二世・三世など、その国で生まれ育ち、その国に生活基盤を持つ者のうち、何らかの原因で過激化してテロリストとなった者を言います。



欧米諸国では、移民の二世・三世として育った若者の一部に、自国社会からの疎外感などを理由に自らのアイデンティティを宗教に見出す動きが見られ、その際、扇動的な説法や過激なネット映像等の影響を受け、自ら過激化し、自国で自爆テロに及ぶという深刻な事態が生じています。

「ホームグロウンテロリスト」が関与したとされるテロ事件及びテロ未遂事件としましては、2004年(平成16年)3月のスペインにおけるマドリード列車同時爆弾テロ事件、2005年(平成17年)7月の英国におけるロンドン同時多発テロ事件、2010年(平成22年)5月の米国におけるニューヨーク・タイムズスクエア爆弾テロ未遂事件などがあります。

「ホームグロウンテロリスト」と「アル・カーイダ」など国際テロ組織との関係は必ずしも明確ではありませんが、テロ組織などからの過激な扇動の影響を受けている可能性が極めて高いと言われています。

日本では、現時点で「ホームグロウンテロリスト」によるテロ事件の発生はありませんが、将来我が国で「ホームグロウンテロリスト」を生まないため、外国人との共生や外国人の孤立化対策などが急務とされています。また、爆発物を製造されないために、爆発物原料の管理を強化する必要があります。

通報依頼

おかしい客だと感じたら、迷わず警察へ！

～ 皆様からの通報が頼りです ～

お客様の来店時

お客様が来店され、右に掲げる化学物質を購入しようとする場合、例えば、大量購入を希望、購入目的があいまい、同じ客が頻繁に訪れる、周囲を異常に気にする、手にやけど跡があるなどおかしいとお感じになった場合には、躊躇せずにお近くの警察署への通報をお願いします。

なお、その際には、人相、着衣、交通手段、車両名、車両ナンバーなど、相手方が特定できる内容のメモを残しておいてください。

問い合わせの電話が掛かってきたとき

電話で、右に掲げる化学物質の問い合わせがあった場合、「在庫を確認し、折り返しお電話しますので、お名前とご連絡先を教えてください」などに対応され、その内容を警察までご連絡していただくようご協力をお願いします。

爆発物原料 11 品目

- ① 過酸化水素
- ② 塩酸
- ③ 硫酸
- ④ 硝酸
- ⑤ 塩素酸カリウム
- ⑥ 塩素酸ナトリウム
- ⑦ 尿素
- ⑧ 硝酸アンモニウム
- ⑨ アセトン
- ⑩ 硝酸カリウム
- ⑪ ヘキサミン

各種会議

出張講演承ります

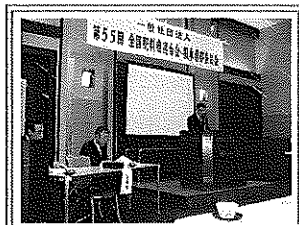
～ 会議に警察官が出向き、国際テロ関連の講演を実施 ～

平成23年2月中、一般社団法人全国肥料商連合会熊本県部会総会及び熊本県レンタカー協会・熊本県警察防犯連絡協議会におきまして、当課から担当者が出向き、国際テロ関連の講演を行いました。本ネットワークにご参加いただいている団体、事業所で、会議を開催する予定がある場合、当課までご連絡いただきますと、担当者を派遣し、国際テロ情勢や爆発物原料対策についての講演を行うことが可能でありますので、ご希望の場合は当課までお気軽にご相談ください。



全国肥料商連合会 熊本県部会総会

2月10日(木)、メルパルク熊本で開催され、担当者が、爆発物原料となり得る物質の取扱い上の注意点について講演しました。



熊本県レンタカー協会・ 熊本県警察防犯連絡協議会

2月9日(水)、警察本部多目的ホールで開催され、担当者が、テロ対策上のレンタカー業者へのお願いについて講演しました。

